

日時：令和2年9月7日(月) 10:00～12:00

場所：沼津市民文化センター 第1練習室

資料：次第、資料3

## 1 開会

### 2 沼津市総合計画基本計画（案）について：審議

前回の続きである、まちづくりの柱7「安心・安全のまち」、7-2「強靱な地域づくり」から審議。

事務局より、基本構想の内容、基本理念に基づく基本計画の「目標」、基本計画で示す「主な取組の概要と方向性」について、柱7-2から柱7-5までを一括して説明。

#### 柱7-1 災害に強いまちづくり

委員)「3 わかりやすい防災情報の発信」について、SNSなどを使って情報発信をしようと思うが、それらが使えない場合の別の手段も考えておかなければならないのではないかと。事務局)危機管理情報メールやツイッターなどを利用して、市民には様々な防災情報を伝えている。それと併せ、普段から複数の媒体を利用して情報を入手できるように伝えている。比較的、ラジオが傍受の不具合がおきにくく、情報を得やすいと聞いている。

#### 柱7-2 強靱な地域づくり

委員)「1 安全な地域社会を支える都市骨格の形成」について、1つ目に「関係機関と連携し…整備・維持管理を進め…」とあるが、受け身に感じる。

事務局)緊急輸送路等の整備になり、道路管理上、国・県と連携しながら進めることになるので、このような表現になっている。

委員)南海トラフ地震での事前避難の検討について記載がないので、7-1-1「地震津波対策の推進」に記載してはどうか。また、罹災証明の発行など被災者が日常生活に戻れるよう、生活再建支援に関する記載を、7-2-4「防災・減災・復旧対策の推進」に入れたらどうか。

事務局)委員ご指摘のとおり、修正を検討する。

部会長)地震・津波対策アクションプランなどと整合を図りながら検討してほしい。

委員)他市の災害で、大雨の際、路線バス等が浸水してしまった事例がある。路線バスなどの避難場所を検討してほしい。

事務局)関係課に伝え、協議しながら方向性を決めていければと思う。

部会長)企業のBCPを作成していきながら、支援して行ってほしいと思う。

### **柱 7-3 自主防災力の向上**

委員)「3 避難所運営の充実」1つ目について、マニュアル策定の方法や市の支援内容について教えてほしい。

事務局) 避難所の運営については、自主防災会が中心になり、実効性の高いマニュアルを策定していただきたいため、策定に関しては、地域にお願いをしている。市としては、ひな形の提供や、運営の際に重要な視点となる、女性の視点や感染症防止対策などを取り入れてもらうよう、策定の支援を行っていく。

委員) マニュアル作成について、地域だとなかなか作成ができないので、もう少し市が支援してくれるような文言を加えてほしい。

部会長)「3 避難所運営の充実」1つ目については、委員の意見も踏まえながら、誰がマニュアル作成するかなど、わかりやすい表現を検討されたい。

事務局) 検討する。

### **柱 7-4 市民の安全・安心の確保**

委員)「3 感染症など新たな危機事象への対策」について、「新型コロナウイルス感染症への対応を検証する」とあるが、検証となるとある程度対応が終わってからになると思うので、「新型コロナウイルス感染症に機動的に対応するとともに、対応についての検証し、対策に反映させる」といった内容にしたらどうか。また、「危機事象…」以後は、別建てにして、「危機事象について、関係機関との連携を強化し、市民への迅速で適切な…」といった内容にしたらどうか。

事務局) 検討する。

部会長)「3 感染症など新たな危機事象への対策」の文章だけ、結びが「努めます」になっているが、理由があるのか。

事務局) 危機事象については、市では経験がなく、対応が困難なものが発生する可能性があることから、努めますといった表現にしている。

### **柱 7-5 安全で快適な交通社会**

委員) 他の市民より、路面の状態が悪く、ベビーカーが押しにくいという意見を聞くので、「1 方向者の安全に配慮した道路の整備・管理」の5つ目に、そのような視点も入れてほしい。

部会長) 個別具体的なことは、なかなか書きにくいですが、必ずどこかで読めるようにしたい。

委員)「4 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備」では、直接的に公共交通を使うことで、市民の安全につながる、安全性が高まることについて意識されないのではないかと。例えば、「交通安全意識の向上」などに、公共交通の活用の意味合いを加えたらどうか。

事務局) 検討する。

委員)「3 高齢運転者による交通事故の防止」の2つ目について、高齢者は、免許証を自主返納した後、どんな支援が受けられるか考えるので、公共交通の支援が受けられるよ

うな意味合いを加え、わかりやすくした方がよいのではないか。

事務局) 委員ご指摘のとおり、修正を検討する。

部会長) 自転車利用者の安全向上に対しての文言が少なく感じる。

事務局) 自転車については、「1 歩行者の安全に配慮した道路の整備・管理」の4つ目記載がある、「沼津市自転車ネットワーク計画」に基づく自転車空間整備と「2 交通安全意識の向上」の3つ目に、自転車安全の利用について記載しているが、安全利用については、もう少し具体的な表現を加えて、わかりやすい表現を検討する。

委員) 観光振興や健康増進等につながる「自転車活用推進計画」についても沼津市は作成していると思うので、その内容についても記載していけばいいのではないかと思う。

事務局) 追記を検討する。

部会長) 一つの案としては、自転車に関する柱を一つ作り、交通安全を含めて記載してはどうか。

事務局) 検討する。

### **まちづくりの柱8「環境と共生する持続可能なまち」について審議。**

**事務局より、基本構想の内容、基本理念に基づく基本計画の「目標」、基本計画で示す「主な取組の概要と方向性」について、柱8-1から柱8-5までを一括して説明。**

#### **柱8-1 環境への負荷低減**

委員) 「4 再生可能エネルギーの有効活用」のなかで、太陽光・太陽熱などの再生可能エネルギーの有効活用の調査研究について、立地条件や環境との共生など相反する事柄を含めて調査研究を進めるべきだと思う。

事務局) 自然との共生・調和を前提に置きながら、再生可能エネルギーの有効活用の調査研究については進めていきたいと思う。

委員) 「2 公共交通・自転車など環境に優しい交通手段の利用促進」のなかに、「新技術による交通システムなどの調査、研究」とあるが、具体的にはどのようなものを想定しているのか。

事務局) 沼津駅、沼津港区間でバスの自動運転化の実証実験を行っているが、そのような技術や地域コミュニティのバスとアプリとの連携などにより、交通システムの充実を図っていく。

部会長) この点に関しては、例示がないとわからないので、できれば例示をかいてほしい。

委員) 「2 公共交通・自転車など環境に優しい交通手段の利用促進」の中に、自家用車についても記述をしても良いのではないか。

事務局) 表現を検討する。

部会長) 「4 再生可能エネルギーの有効活用」について、沼津市の現状をみると、環境に配慮するという考え方は理解できるが、世の中の流れは、企業では、使用エネルギーをすべて再生可能エネルギーに変えたり、自治体が電力を中心とした事業体を作って、再

生可能エネルギー利用を促進し、地球温暖化対策に取り組むなど、環境に対する弊害を克服しつつ、再生可能エネルギーを導入する流れになっている。そのような積極的な取組についても記載する必要があるのではないかと。環境部局と協議しながら決めてほしい。数十年後の先をみると、100%再生可能エネルギーでなければいけない未来が来ているので、地球温暖化対策を考えると、この10年が重要だと思うので、しっかりと意識した計画でないといけないと思う。

#### **柱8-2 資源循環型のまちづくり**

部会長)「2 安全で環境負荷の少ないごみ処理の推進」の中で、最新の技術を導入したとあるが、どのようなものがあるのか。

事務局) 施設を作る時点での最新の技術ということもあるが、例えば、高効率のボイラーを導入するなどが挙げられる。

#### **柱8-3 自然共生型のまちづくり**

委員) 現状と課題などで、「里地、里山、里海」とあるので、「2 生態系から恵みの持続的な享受と活用」にも里地を追記した方がよい。

「1 自然環境・生物多様性の保全」の中に、愛鷹山麓とあるが、山麓と表現すると、広すぎると思う。

事務局) 表現を検討する。

部会長) 鳥獣被害についてはどこで読むのか。

事務局)「1 自然環境・生物多様性の保全」の「生物多様性を守るための行動」の中に含まれている。

#### **柱8-4 良質な水資源の確保と水質保全**

委員) にぎわいづくりとして活用されている狩野川が汚れているという声を聴くことがあるが、8-3や8-4などの施策を進めることで、保全が図られるのか。

部会長) 今の話は、良好な水環境を享受する、親しむというような事柄になる。

事務局) 享受と活用については、8-3-2「生態系からの恵みの持続的な享受と活用」に記載している。

委員) 沼津市における下水道整備に関しては、地区により処理施設があり下水道整備が進んでいるため、今後は、合併処理浄化槽の切り替えを進めるのか。

事務局) 沼津市下水道ビジョンに基づき、適正に下水道整備、合併浄化槽の整備を推進していく。

部会長) 他市によっては、下水道の新規整備ではなく既存物を更新することが課題になっている。沼津市は、どのような整備を進めていくのか。

事務局) 下水道計画区域の見直しを行いながら、下水道管の布設等推進し、下水道接続率、普及率の向上を図っていく。

## **柱 8-5 環境を大切に作る人づくり**

**委員)** 「1 環境教育・学習の推進」のなかで、学習と教育の記載について、意図的に分けているのか。

**事務局)** 体験学習などを通じて自ら学ぶものを学習、先生など指導者を通じて学ぶものを教育として記載している。もう少し、整理した表記を検討する。

## **全体を通して**

**部会長)** 各柱に「目標」とあるが、普通の言葉で言うと「方向性」だと思う。また、数値目標は持たないのか。

**事務局)** 基本構想で掲げた、3つのまちづくりの基本理念を意識してまちづくりに取り組むことが重要との考えから、目標については、それぞれに分けて記載している。数値目標については、柱ごとに設定していきたいと考えている。

**部会長)** 数値目標を達成するために、具体施策があると思うので、数値目標を議論する場を設けて頂きたい。

**委員)** 7-3「避難所の充実」に関わることだが、避難所のトイレの配置について、人から見えない場所に設置することにより、犯罪が発生するケースがあると聞く。そういったことが起きないように、マニュアル作成の際に、重要になる観点を取り入れることができるよう支援をお願いしたい。

**事務局)** 他地区で課題になった事項等を情報提供しながら、避難所運営のマニュアル作成支援を行っていきたい。

## **4 その他**

事務局より、今後の日程の確認等を説明。

## **5 閉会**